

1日でも早い浦安市内でのパスポート発給実現を



先日、パスポート発給が浦安市内で出来る方向性が千葉県より示されました。

この問題について私は、平成24年6月議会一般質問で「平成18年3月の旅券法改正により、市町村への発給事務の権限移譲は可能となっている。他都道県で進んでいる市町村でのパスポート発給を本市でもできるように、市長が前面に立って動きを進めてもらいたい」と強く要望しておりました。

きっかけは、県指標「旅券申請件数」において、2位の印西市（人口千人当たり45.9件）や3位の市川市（44.2件）を引き離し、浦安市の申請率が群を抜いて1位（60.3件、年間9608件）というデータを把握したことでした。

その後も議会質問を行い、平成24年10月、知事と市長の意見交換会において、松崎市長から旅券事務の権限移譲を求める直接要望が行われたのに続き、平成25年1月開催の京葉広域行政連絡協議会から森田知事に対し、権限移譲の要望書が出されました。

市町村長から直接要望が出たのは今回が初めてと聞いており、これまで動きがにぶかった県としては、これにより動かざるを得ない形に追い込まれたのではないかと推察しています。

市民待望の市内でのパスポート発給は、早ければ平成27年度にも権限移譲される見込みですが、市民の利便性向上のために一日でも早い移譲がなされることを願ってやみません。